

IV. 各種学校の経営に資する事業（寄付行為第4条4号）

【日本語学校】



5月 遠足（愛知県陶磁資料館）



7月 スピーチコンテスト



12月 クリスマスパーティー



20周年記念携帯ストラップ

【本科】 2008年度の本科の在籍は春・秋学期とも42名となり、秋学期は若干ではあるが前年度を上回る学生数となった。学生の国籍も春学期19ヶ国、秋学期17ヶ国と前年より増えている。学習者も、日本人の配偶者や家族滞在者など日本在住の外国人が過半数を占めるという状況に変わらないものの、学校教育を海外で受けた日本国籍の学生も数名入学し、学生の多様化はますます顕著となっている。

また、昨年度から途中退学者が減り、一年の課程を最後まで学び終えて進学・就職する、或いは中上級コースへ進級するという傾向がはっきりとしてきた。これは学生の学習意欲の高まりをあらわすものであり、安定したクラス運営にも大きく貢献している。

【別科】 春・秋学期とも別科開講以来、最多の学生数となった。特に初級Ⅰレベルでは、募集開始後数日で定員に達して募集を終了するという状況が年度を通して続いている。

また、多くの学生が学習の継続を希望し、上のクラスへの進級するため、春・秋学期とも、初級Ⅱレベル以上の多くのクラスが継続生のみで定員に達し、新入生の受け入れができない状況となった。

夜のクラスの学生数の増加は、この地域の日本企業や外資系企業で働く外国人社員の増加をそのまま反映していると思われる。しかし、冬学期になると世界的な経済不況の影響が別科にもあらわれ、新入生・継続生とも例年に比べ大幅な減少となった。そのため、比較的入学希望者の多い初級クラスを増やすなど、レベルによって開講クラス数を調整し、学生の獲得に努めた。

【20周年記念ストラップ】 日本語学校開校20周年を記念して、学生のデザインによる携帯ストラップを作成し、今年度より卒業記念品として学生に配布することとした。

（鈴木ゆみ）

名古屋YWCA学院日本語学校奨学金

春期奨学生には4名の応募があり、奨学金委員会において選考の結果、中国・台湾・韓国それぞれ1名、合計3名の学生が奨学生として選ばれ、4月から9月までの6ヶ月、毎月15,000円の奨学金が給付された。秋期奨学生には10名の応募があり、中国の学生3名が選ばれ、10月から3月まで6ヶ月間、毎月15,000円の奨学金が給付されることとなった。

【開催プログラム】

本科コース

コース名	学期	期 間	時間数	クラス数	学生数	国籍
本科一年課程	春	2008年4月～9月	400	4	42	19
	秋	2008年10月～2009年3月	400	4	42	17

本科年間行事

学 期		行 事
春学期	4月1日	春期コース入学オリエンテーション・クラス分けテスト
	4月23日	春期奨学金授与式
	5月30日	遠足（愛知県陶磁資料館）
	6月10日	東海北陸地区日本語教育機関中国人留学生合同オリエンテーション
	7月3日	進学説明会
	7月18日	スピーチコンテスト
	8月4日～8月29日	夏休み
	9月 9月22日	期末試験 秋期コース卒業式・春学期修了式
	9月24日～10月3日	秋休み
秋学期	10月6日	秋期コース入学オリエンテーション・クラス分けテスト
	10月21日	秋期奨学金授与式
	10月24日	学力試験
	11月19日	健康診断
	12月12日	クリスマスパーティー
	12月22日～1月5日	冬休み
	2月	スピーチコンテスト
	3月 3月16日	期末試験 春期コース卒業式・秋学期修了式

別科コース

学期	コース名	期 間	時間数	クラス数	学生数	合計	国籍
春	別科 午前	2008年4月～7月	69	4	57	134	32
	別科 午後	4月～7月	69	3	37		
	別科 夜間	4月～7月	60	4	40		
夏	夏期集中	7月～8月	69	4	43	43	17
秋	別科 午前	9月～12月	69	5	60	135	30
	別科 午後	9月～12月	69	3	35		
	別科 夜間	10月～2009年2月	60	4	40		
冬	別科 午前	2009年1月～3月	69	5	42	77	21
	別科 午後	1月～3月	69	3	22		